

【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

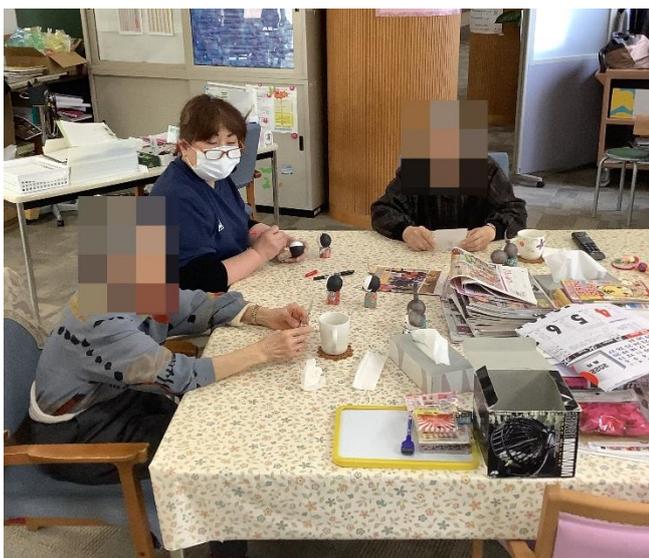
1階 介護 藤田 法子

通所リハビリでは、この時期恒例の行事として「ビンゴゲーム大会」を開催しています。

参加された方々は、24個のマスから一早くラインを揃えようとビンゴの紙とにらめっこし、真剣に取り組まれていました。

早くにリーチの声を上げて、なかなかビンゴとならなかつたり、逆に遅くリーチがかかった方が早く揃ったりと、しかしながらそれがビンゴの醍醐味。

一つの数字に一喜一憂しながらも利用者様には笑顔で楽しんでいただき、大好評でした。



3階 介護 齋藤 真知子

2月3日に節分の豆まきを行いました。

スタッフ3名が、赤鬼、青鬼、黄鬼の衣装を着て各階に登場しました。利用者の皆様は、病気や災害を鬼に見立てて、一生懸命に豆をまきながら追い払っていました。

豆まきの後にはレクリエーションを行い、おやつの時間にはまいた豆を皆で頂きました。利用者皆様の真剣な表情と笑顔を見ることができ、とても有意義な時間となりました。





3階 看護 工藤 絢那

徐々に日は長くなってきましたが、まだまだ朝夕は肌寒い日が続いています。私の住む地域では今でも時々真っ白な光景が見られます。しかしながら春はもうすぐ。花粉症の私にとっては悩ましい季節が到来しようとしています。

朝夕と日中の気温差が激しいこの時期、気温差に体がついていかず体調を崩しやすくなります。新型コロナウイルスの感染者数は落ち着きを見せていますが、インフルエンザの感染は拡大してきています。利用者皆様が元気に春を迎えていただけるよう、引き続き支援していきたいと思っております。



相談室 佐々木 祥子

当施設では、年度初めに家族構成・緊急時の連絡先を確認させていただいております。同封の用紙に家族構成・緊急時の連絡先をご記入の上、3月31日(金)まで、窓口にご提出下さい。

また、ご家族の状況に変化がございましたら、その都度ご連絡下さい。ご協力よろしくお願い致します。



【面会についてのお知らせ】

新型コロナウイルス感染防止のため、現在全ての面会を中止させていただいております。

面会制限解除の際は随時ホームページ等でお知らせ致します。

また10日以内に県外への往来があった方や県外往来者との接触があった方は入館をご遠慮いただいております。

上記の方は、備付けのインターホンをご使用いただくか、☎0184-23-7100 までご連絡をお願い致します。

ご家族の皆様には長期間にわたり、ご不便やご心配をお掛けしておりますが、ご理解とご協力をお願い致します。

なおご不明な点がございましたら職員にお尋ね下さい。

○お問い合わせ先
介護老人保健施設「しょうわ」
0184-23-7100 (代)